

	がん化学療法看護総論	4) がん化学療法におけるセルフケア支援		
	第2回： がん化学療法薬について がん化学療法薬の安全な取扱い	1) がん化学療法薬の作用機序・特徴 ①殺細胞性抗がん剤②分子標的治療薬 ③免疫チェックポイント阻害薬 2) 抗がん薬曝露の危険性と人体への影響 3) 抗がん薬曝露予防の必要性・方法について 4) 抗がん薬曝露予防策の演習 ①個人防護具の装着（内服取り扱い含む） ②排泄物の取り扱い	講義 実技	パワーポイント 講義資料 個人防護具 （エプロン・マスク・手袋・ゴーグル）
	第3回： がん化学療法薬の副作用とセルフケア	1) 代表的な副作用症状の発生メカニズムとセルフケア支援 ①悪心・嘔吐 ②骨髄抑制 ③口内炎 ④脱毛⑤下痢 ⑥便秘 ⑦末梢神経障害 ⑧皮膚障害⑨甲状腺機能障害 ⑩高血圧 ⑪間質性肺疾患⑫吃逆	講義	パワーポイント 講義資料 必要物品
	第4回： 確実・安全・安楽ながん化学療法薬の投与管理	1) 治療のアセスメント 2) 患者の全身状態・治療歴のアセスメント 3) 各レジメンを基にがん化学療法薬投与前・中・後のポイント 4) 急性期症状出現時の看護 ①アレルギー症状；アナフィラキシー、インフュージョンリアクション②血管外漏出 5) VNR、GEM 投与時の血管痛・静脈炎予防対策	講義 実技	パワーポイント 講義資料
	第5回： 試験 がん化学療法薬投与における末梢静脈穿刺と投与管理	1) 試験 2) 末梢静脈注射に伴う看護師の法的責任について 3) 解剖生理 4) 適切な血管のアセスメントと穿刺手技 5) 感染管理 6) リスクマネジメント	試験 講義	試験用紙 筆記用具 講義資料 参考図書
	第6回： 症例検討	1) 受講生の各自症例検討、発表	GW	筆記用具 各自症例資料
合格基準	1. すべての講義を受講する 2. 試験は全課程を受講したもののみ受けることができる ※80点以上（合格点に満たない場合は、不正解の項目について第6回講義までに各自修正し			

がん化学療法看護研修

	再提出する)
参考図書	参考図書： 1. ステップアップがん化学療法看護 小澤桂子・足利幸乃監修、学研、2011 2. 国立がん研究センター内科レジデント編集、医学書院、 3. ほか 講義中に適宜紹介する
その他	1. 全課程修了者には修了書を授与する 2. 内容については第1回研修時のアンケートを基に追加・修正する 3. (院内) 自部署の課題について具体的対策を立案し提出する、もしくは自己の看護の振り返りから修正した看護計画を立案し提出、次年度に取り組む(内容について相談に応じる)